



スクールインフォメーション ～学校だより～

秋の販売会を開催！

岩瀬農業高校

11月17日(水)、保護者を対象とした農産物販売会を実施しました。

昨年度はドライブスルー方式での販売でしたが、今年度は対面での販売となり、生徒たちが一生懸命に作った岩農米やハクサイ、ダイコン、ネギ、リンゴをはじめ、食品科学科が製造したジャムなどを保護者の皆さんに購入していただくことができました。

来場いただいた保護者の皆様には、御不便をおかけしたところもあったかと思えます。皆様の御協力のおかげで無事に販売会を終えることができました。



町学力向上授業研究会

鏡石中学校

11月18日(木)に、町学力向上授業研究会を開催しました。町内の幼小中の教職員が参集し、授業参観、研究協議、講演会を通して研修を深めました。授業参観は、1年理科、2年社会の授業で、タブレットを用いて調べ学習をしたり、意見交換したりして学習を深めました。講演会は、福島大学の先生をお呼びし、「生徒の見取りと深い学びについて」と題して講義を聞きました。子どもの学習状況に応じて手立てを変化させることやタブレット (ICT) を情報提示や検索に使うだけでなく、子ども同士や子どもと教材をつなぐことの大切さについてお話をいただきました。子どもたちの豊かな学びのため、これからも指導力向上に努めていきたいと思えます。



「食に関する指導」を行いました

第一小学校

鏡石一小では、栄養教諭が中心となり全学年「食に関する指導」を行っています。12月は4年生で授業を行いました。テーマは「自分の生活リズムを整えよう」です。授業では、スライドや自分手帳を活用し、朝食の大切さ、運動の効果、睡眠のはたらきを学びました。自分の生活を振り返り、どうすれば生活のリズムが整うかを真剣に考えることができました。どれも自分の成長には欠かせないものであると理解することができました。



自分手帳の活用

授業の様子

全学年で理科教室を実施

第二小学校

11月中旬から12月初旬にかけて、各学年ごとに「理科教室」を実施しました。町の取り組みの一環として、毎年行っています。一小の同学年の皆さんとの交流という意味もあり、同じ日に一緒に活動します。サイエンスショーを見たり、学年に応じた実験や制作を行い、楽しい体験活動ができました。



サイエンスショー



グループごとの体験活動 (一小との交流)

～いつでも どこでも 誰でも いつまでも学べる鏡石～



今月のピックアップ

司書おすすめの2冊を紹介します！



「ロサリンドとこじか」

徳間書店

エルサ・ベスコフ：作・絵／石井 登志子：訳

ロサリンドという女の子がいました。仲良しの小鹿と菩提樹のそばでうたた寝をしていた時、猟師と犬がふいに現われて、鉄砲を撃つ音がひびきました。小鹿は驚いて、風のように駆けていってしまいました。小鹿はお城の庭に迷い込み、王様によって金の檻に閉じ込められてしまいます。捕らわれた小鹿は何も食べようとせず、王様は困り果てて「おふれ」を出すのですが…。美しい挿し絵で語られるスウェーデンの作家エルサ・ベスコフの絵本です。



「5さいからはじめるしょうぎ」

日東書院

杉本昌隆八段：監修

将棋を指せるようになると、自分で考える力がついて、集中力を養うことができるといわれています。この本は小さな子どもさんが自分で読めるように、駒の名前以外はすべてひらがなで書かれています。基本的な駒の動かし方やルール説明、段階を踏んだ練習問題もあるので、子どもさんが自分で駒を動かしながら学ぶのにおすすめです。イラストが多く、簡単な問題を楽しみながら将棋を覚えられる本です。

図書館からのお知らせ

●スペシャル展示コーナー「本の福袋」

毎年恒例でご好評いただいている「本の福袋」(貸出本・やさやかなプレゼント入り)を今年も実施いたします。子ども用から大人用までご準備いたします。普段読まないジャンルや、図書館員おすすめの本との出会いをお楽しみください。数量に限りがございます。なくなり次第終了となりますので、ご了承ください。皆さまのご来館をお待ちしております。

●児童室前の絵本展示

1月の児童室前の絵本展示のテーマは「冬の絵本」[節分]の2本立てです。

ある日、いじわるな継母と姉から、冬の森に行ってスマレの花を摘んでくるようにいつつけられたマールシャガ、泣きながらスマレの花を探しに行くと、不思議な12人の精霊と出会い…スロヴァキア地方の昔話の絵本「12の月たち」。

節分の晩、豆まきをされて追い出されてしまった、気のいい鬼の子・おにたは、豆まきをしていない家を探しているうちに、ある女の子の家を見つけますが…ちょっぴり切ない絵本「おにたのぼうし」。どうぞ、親子でお楽しみください。

●丸テーブルの展示

1月の丸テーブルの展示テーマは「歴代の芥川賞・直木賞受賞作品」です。

芥川龍之介賞・直木三十五賞は、文藝春秋の創業者である菊池寛氏が二人の友人の名を記念し、昭和10年に制定しました。選考会は7月中旬・1月中旬の年2回開かれます。歴代の受賞作品を一堂に集めて展示いたします。この機会にぜひ手に取ってご覧ください。

●図書館ニュース

・図書館の『新刊が入ってくる曜日』をご存じでしょうか？新刊は、毎週火曜日のお昼前後に入ってきます。火曜日が休館日の場合は、水曜日入荷予定となっております。「今週の新刊チェックがしたい」「新しい本を一番に借りたい」という場合は、毎週火曜日の午後1時頃がねらい目です。

・「どうしても読みたい本があるけれど、鏡石町図書館に所蔵されていない。」そんな時は、リクエストをしてみてください。また、他の図書館から借りることもできます。読みたい本や、お探しの本がある場合は、お気軽に職員までおたずねください。